

### 第9回 ありえ浜んこらまつり

～8月22日 マリンパークありえ～



勇壮な有中ソーラン節の決めポーズ！



アタック！レベルの高い攻防に観客も大興奮！

南島原市の夏の締めくくりイベント「ありえ浜んこらまつり」。日中はビーチバレーからスタート。北九州からの参観など市内外から38チームが参加。暑い日差しの下で熱戦を繰り広げました。夕暮れときには、有家中学校の生徒たちが、有中ソーラン節を披露。25

0人が砂煙をあげての入場シーンは圧巻で、決めのポーズが決まるとアンコールの声がマリンパークに響きました。その後、会場の波止場に有家庭霊燈に火が灯ると、イベントも佳境を迎えます。締めくくりは、来場者を魅了する花火。夜空を彩り、参加者を魅了しました。



### 加津佐町花火大会

～8月16日 加津佐町前浜海水浴場～

お盆を彩る加津佐町花火大会。この花火大会を楽しみにしている帰省客も多いのだとか。

参加者は、夜店で買ったかき氷や飲み物などを片手に浜辺に座り、百花繚乱の花火を満喫しました。



炭で作った「バラ」。美しさにびっくり！

キャンプでは、「環境学習」で温暖化などを学んだあと、自分たちでテントを建てたり夕食を準備しました。そのほかにも、薪窯で自家製パンを焼いたり、バラで炭を作ったり、子どもたちは、ここでしかできない体験を通して、環境の大切さを学んだようです。

### みんな夏まつり

～8月22日 J A島原雲仙南有馬支店駐車場～



南有馬町で行われるこのおまつりのコンセプトは「とにかく自分たちが楽しい」こと。

商工会青年部を中心に、農青会、婦人会など、さまざまな団体が協力し合って夜店を出展。

来場者はもちろん、出展者もゲームを楽しんだり、たこ焼きなどに舌鼓をうつなど楽しい時間を過ごしました。

### 活き生きサマーフェスタ

～8月16日 布津こんぴら公園～



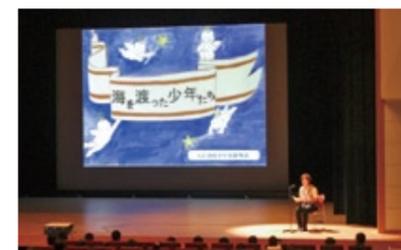
やっとなつかまえた！と思ったら…残念!! p(´`q)

その後は、市内外から集まった和太鼓グループ（布津無双太鼓）が、勇壮な和太鼓を披露。観客は、その激しさ、繊細さに魅了されていた様子でした。

すいか割りなどのステイイベントが終わると、お待ちかね「うなぎのつかみどり」が始まりました。子どもたちは熱狂。夕食のおかずということもあって、お母さんたちの応援にも力が入り、場内では「でかした」の声が。

### ふるさとを紙芝居から

～8月10日 ありえコレジオホール～



ふるさと南島原市をもっと知ってもらおうと、南島原市が紙芝居を制作。お披露目を兼ねた「紙芝居の読みかたり」が行われ、多くの小学生、親子連れが紙芝居を楽しみました。物語は、親孝行で有名な安永安次の奇跡の物語「安次とふしぎな田んぼ」ほか4作品が語られ、子どもたちは熱心に聞き入っていました。今後は、希望があれば、観光客や修学旅行生にも読み聞かせを行い、より多くの人に南島原市の歴史や民話を伝えていきます。



### 南島原市はどんなまち？

～8月24日 エコ・パーク論所原～

8月10日から市内の民泊を体験していた川野陽子さんと鈴間公子さんの二人が、報告会を行いました。二人は、国土交通省の「若者の地方体験交流支援事業」として、南島原市に派遣。市内の農家などに民泊をしながら「南島原市の生活」を体験しました。

報告会では、「民泊を一步すすめ、食べ物大切さを学べる機会にしては」など、市の良さや改善すべきポイントを「外に住む若者」ならではの視点で発表しました。当日は、民泊先の皆さんも参加し、二人の発表を温かく見守りました。

短い期間ではありましたが、お互いにとって、替えがたい思い出となったようです。

### 明日の万に備えて

～9月1日 市内各地～

9月1日の防災の日に併せ、市内の消防団が、夏季訓練を行い、それぞれの地区の災害に備えました。

西有家地区消防団は、みそ五郎の森運動公園で実施。各班に分かれての礼式訓練のほか、公園の池から実際に水を汲み上げての放水訓練など、力が入った訓練が行われました。

市民の皆さんも火の元には十分気をつけ、火災が発生しないよう心がけましょう。



実際にホースを延長しての放水訓練。圧力が高いため二人で持つ必要があります。

